

# 京北病院 地域とともに

第7号



## 京北病院が果たす機能の在り方 市長へ答申

令和8年2月2日に、令和7年度第2回京都市医療施設審議会を開催し、京北病院が果たす機能の在り方に関する答申を取りまとめ、3月18日に審議会を代表して山谷会長から松井市長へ答申書が提出されました。

医療施設審議会の山谷会長から松井市長へ答申書を手交



市立病院機構の職員も交え、京北地域の持続可能な医療提供について懇談しました

京北病院は、京北地域の医療拠点としての役割を担っている一方、建物は築40年以上が経過し、老朽化が進んでいること、高齢化や人口減少に伴い患者数が減少し、安定的な経営が困難になっていること等が課題となっています。

そのような中、「京北地域への安心・安全な医療の提供」と「京北病院の持続可能な運営」の両立を目指し、議論してきました。

### <答申内容>

- ①入院：京北地域唯一の病院として、入院診療機能を維持(38床全床を地域急性期に転換)
- ②外来：現状の外来診療をベースに、柔軟に対応
- ③訪問診療・訪問看護：京北地域のニーズに応えるため、訪問診療及び訪問看護を継続
- ④診療所：通院手段や訪問診療等を確保し、京北病院に診療機能を集約化(4つの診療所を廃止)  
将来の医療提供体制に向けての取組としてオンライン診療の活用(新規)
- ⑤介護老人保健施設：医療機能に特化し、地域の介護施設等との連携強化(介護老人保健施設を廃止)
- ⑥通所リハビリテーション：住み慣れた京北地域での生活を支援

また、運営・経営については、市立病院との一体運営を活かした人材確保や患者の移送、地域との連携により高齢者を地域全体で支えること、老朽化等も踏まえ再整備も並行して検討すること。

答申書全文は  
コチラ→



京都市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

▼御意見は FAX : 075-222-4062 まで▼  
メール : eisei@city.kyoto.lg.jp

京北病院に関する御意見を、京都市医療衛生企画課で受け付けています。  
下記に御記入いただき、この用紙をFAXもしくはメールでお送りください。

お名前（任意）	
お住まい（当てはまるものを○で囲んでください）	周山 弓削 山国 黒田 宇津 細野 その他
メールアドレス（任意）	
（京北病院に関する御意見）	

※いただいた御意見は、今後の病院運営に活かしてまいります。

令和5年度から進めてきた京北病院が果たす機能の在り方検討にあたっては、この間、京北地域の皆様から様々な御意見を頂戴し、この場をお借りして御礼申し上げます。

昨今の医療を取り巻く環境は大きく変化しており、経営も厳しい状況ではありますが、地域唯一の病院として安心・安全な医療を提供できるよう、本答申を踏まえ、取組を進めてまいります。

引き続き、御理解、御協力をお願い申し上げます。



みぶまる